

事務事業マネジメントシート
(兼)予算編成資料・実施計画資料22年度事業 事後評価
作成日 H 24 年 2 月 14 日作成

事務事業名	県市議会議長会参画事業 □ 実施計画事業	所属部局 所属課室 所属担当	議会	単位番号	9007								
			議会事務局	課長名	有野一成								
			担当者名	杉山成悟									
基本政策	99 施策に結びつかないもの	予算科目 事業区分	会計	名称	款	項	目	細目	細々目				
	99 施策に結びつかないもの		01	一般	0	1	0	1	0	4	0	0	1
	99 施策に結びつかないもの		<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業									
政策	99 施策に結びつかないもの	<input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> 補助金交付事業										
	99 施策に結びつかないもの	<input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他の事業										
	99 施策に結びつかないもの	<input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金											
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	法令根拠	なし										
事業の内容 事務事業の概要	事業の内容 事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 県・関東・全国市議会議長会の負担金	事業費の主な内訳 (22年度) 項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円)	法令外負担金 833	計 833									

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動
22年度活動実績 議員及び事務局職員研修 関東・全国の会議への参加
23年度活動予定 同上
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等
議員、議長及び事務局職員
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていくのか、どのように変えるのか)
議員及び事務局職員の資質向上と見聞を広める。
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)
議員活動の充実を図る。

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	
ア:研修の回数	単位
イ:会議への参加回数	回
ウ:	
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	
ア:研修に参加した議員数、職員数	単位
イ:会議に参加した人数	人
ウ:市議会数	市
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	
ア:資質向上できた議員数、職員数	単位
イ:	
ウ:	
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	
ア:議会活動に対する満足度	単位
イ:満足度調査の指数	%

		単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算見込・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年間トータルコスト	事業費	国庫支出金	千円						
		県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	469	833	834	950		
		事業費計 (A)	千円	469	833	834	950	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	1			
		延べ業務時間	時間	80	170	8			
		人件費計 (B)	千円	357	758	32	0	0	0
		(A)+(B)	千円	826	1,591	866	950	0	0
活動指標		ア:回	2.0	2.0					
		イ:回	6.0	40.0					
		ウ:							
対象指標		ア:人	29.0	26.0					
		イ:人	12.0	80.0					
		ウ:市	13.0	13.0					
成果指標		ア:人	29.0	26.0					
		イ:							
		ウ:							
上位成果指標		ア: %							
		イ: %							

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	市議会の活動状況を広く市民に伝え、議会への関心を高めてもらうため、平成15年(合併当初)と同時に開始した。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べどう変化しているか?また、今後の予測は?	平成の大合併により町村が市になり市議会数が増えた。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	議員から今後更に身近な研修が数多く受けれるよう要望が寄せられている。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	「取り組みしている」⇒【内容】 <input checked="" type="checkbox"/> 「取り組みしていない」⇒【理由】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	より良い研修が受けれるよう研究している。
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	県市議会議長会の会長市であった為、より良い研修が受けれるよう県内各市議会の意見を取りまとめ調査研究した。

事務事業名	県市議会議長会参画事業	所属部	議会	所属課	議会事務局
-------	-------------	-----	----	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 議員及び職員が研修に参加したことにより、他市議会の情報や意見交換をすることにより目的を達成している。
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 山梨県市議会議長会は県内各市の参画事業のため、民間やNPOに委ねることは出来ない。
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 市内に留まらず、広い見識を養うことが出来るので適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 議員研修会の開催回数を増やせば、さらに議員の研鑽の機会が増え、成果向上につながると考えるが現状の議員活動、行事の中で日程を調整し、取り組むことは難しい。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 県・関東・全国市議会議長会は一連の組織としての活動をしているので影響がでる。 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】
効率性評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 支出している事業費は人口割り等の負担金なので削減はできない。
	⑧人件費の削減余地 成果を下げず人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 人件費はかかっていない。
公平性評価	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 事業は公選された議員、県内各市議会事務局のため偏ってはいない。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
④ 公公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・複数選択可				(3) 改革・改善による方向性																		
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果)	<input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果)	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">コスト水準</th> </tr> <tr> <th></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		コスト水準			削減	維持	増加	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		低下	<input type="checkbox"/>		
コスト水準																						
	削減	維持			増加																	
向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>																	
維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																				
低下	<input type="checkbox"/>																					
<input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果)	<input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切)																				
<input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)																					
(2) 改革改善案について																						
①なし	②	③																				
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策				(5) 事務事業優先度評価結果																		
①なし	②	③	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>対象外</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>対象外</td> </tr> </table>		成果優先度評価結果	対象外	コスト削減優先度評価結果	対象外														
成果優先度評価結果	対象外																					
コスト削減優先度評価結果	対象外																					